要保管

CARABINERS QUICKDRAWS
カラビナ クイックドロー

CE 0333
CE 0639

IST01-IW_rev.0 06-15

EN12275-EN566-EN362:2004
一商品ごとの荷重検査済
MADE IN ITALY
89/686/CEE
高所からの墜落防止のための個人用装備

カラビナ、クイックドロー共通取扱説明書

製造元:イタリア・アルデザイン社
(商標名:クライミング・テクノロジー)
輸入販売元:イワタニ・プリムス株式会社
東京都中央区八丁堀4-12-20
電話番号 03-3555-5605 **イタリア製**

本説明書はさまざまなタイプのカラビナ、クイックドローの共通取扱説明書です。

はじめにお読みください

登山、クライミングは一般的に他のスポーツに比べ、リスクの高いスポーツです。クライミング用品を使用しても登山、クライミングには潜在的な危険が伴います。ご自分自身の安全のため、クライミングを行うかどうかの判断はご自分で下してください。本製品を使用する前には必ず本取扱説明書をよく読み、本製品の特徴や注意事項をよく理解して使用してください。実際の使用の前には本製品の使用方法に十分に慣れることが必要です。また、クライミングに際しては安全確保に対する幅広い知識が必要であることを認識し、考えられうる事故に備えなければいけないことを考慮してください。

この取扱説明書はご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みいただいた後はいつでもご覧になれる所に保管してください。最新の情報や、その他の補足情報、及びその他の言語での取扱説明は、www.climbingtechnology.comにて確認してください。

⚠ **警告** 本説明書の正しい取扱方法に従わない場合、死亡または重大な傷害を負う恐れがあります。

表示内容

⚠ **危険**:人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容です。
⚠ **警告**:人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ **注意**:人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容です。
⊘ **禁止**:やってはいけないことを表しています。

カラビナ、クイックドローご使用に際しての注意事項<必ずお読みください>

この注意書は、本製品を登山、クライミングで正しく使用するための注意事項が書かれています。誤った使用方法、不適切な使用方法は、死亡または重傷を負う恐れがあります。この器具を使用する人は、使用方法を習熟しておく必要があります。使用者は使用方法(器具の使用方法および安全確保に関しての正しい措置)についての充分な習得が必要です。多くの誤った使用方法がありますが、この説明書にはその誤った使用方法を一部のみ図解しています。本取扱説明書に記載のある正しい方法でのみ使用してください。他の方法による誤った使用方法は禁止いたします。使用者はクライミング、岩登り等での実際の使用における生命および身体に対するリスクをあらかじめ認識してください。正しい使用方法を習得しない、またはリスクを認識しない人、登山、クライミング全般に対する知識を有しない人や安全確保を行えない人は、本製品を使用してはいけません。製造元、販売店、輸入代理店は、誤った使用方法や不適切な使用方法に起因するすべての事故に対し一切の責任を負いません。

本取扱説明書は、登山、アルパインクライミング、スポーツクライミング用品の正しい使用方法などについて説明を行うものです。それらに関する専門的用語が用いられています。語句の内容が理解できない場合は本製品を使用せず、まずクライミング講習等を受講してください。またクライミングには安全を確保するための正しいロープワー

クが必要です。これらが行えない場合は危険ですのでクライミングを行わないでください。また、クライミングは、クライミングについての知識や技能、およびその安全確保について十分な知識を持ったクライミングパートナーと一緒に行ってください。

> ⚠ **警告** 登山、クライミングの前または最中には、アルコール、向精神薬、その他、知覚·認知、バランス感覚、集中力に悪影響を与える食品や薬品等の摂取を行わないでください。

適合性について:この器具とあわせて使用するクライミング用品について、正しく機能させられるかどうか検証を行ってください。ロープ:クライミングにはクライミング用のロープを使用してください。ロープはその太さや種類により柔軟性やすべりやすさに違いがあり、ビレイに影響を与えます。また真新しいもの、表面加工の種類や程度、防水加工済ロープ、濡れたり凍ったりした場合などの条件でも柔軟性やすべりやすさは変わります。

個人装備です:クライミング用品は自分自身で管理し使用してください。他の人が使うような場合には必ず器具の点検を入念に行ってください。このようなためにも点検記録簿を作っておくと便利です。

> ⚠ **警告** どのような使用履歴があるかわからないクライミング器具や取扱説明書のない器具は使用してはいけません。

使用前点検について

実際に使用する前に、すべてのクライミング用器具が最善の状態であることを確認してください。磨耗がひどかったり、ひび割れが見られたり、亀裂が入っていたり、ささくれているような場合は使用を中止してください。

表示について

製品に記載されている表示が読み取れることを確認してください。また内容を理解した上でお使いください。

EN 362 / 12275 / 566製品についての説明

EN番号 はヨーロッパ連合で規定する製品の規格で、EN362は墜落防止のための個人用装備、EN12275は登山·クライミング用カラビナ、EN566はスリングを意味します。スリングのスペックは**図10**をご覧ください。

図1　EN 362／トレーサビリティ

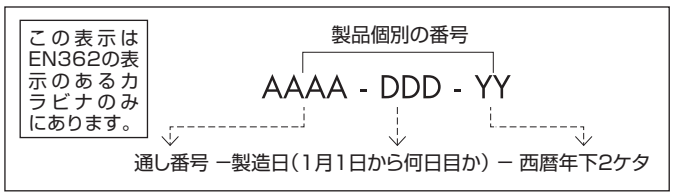


図2　本取扱説明書の表示記号

図3　表示(破断強度)

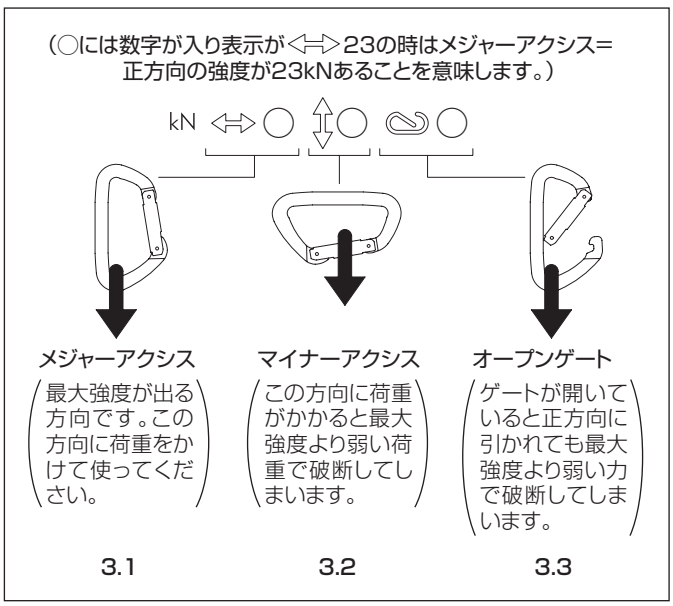


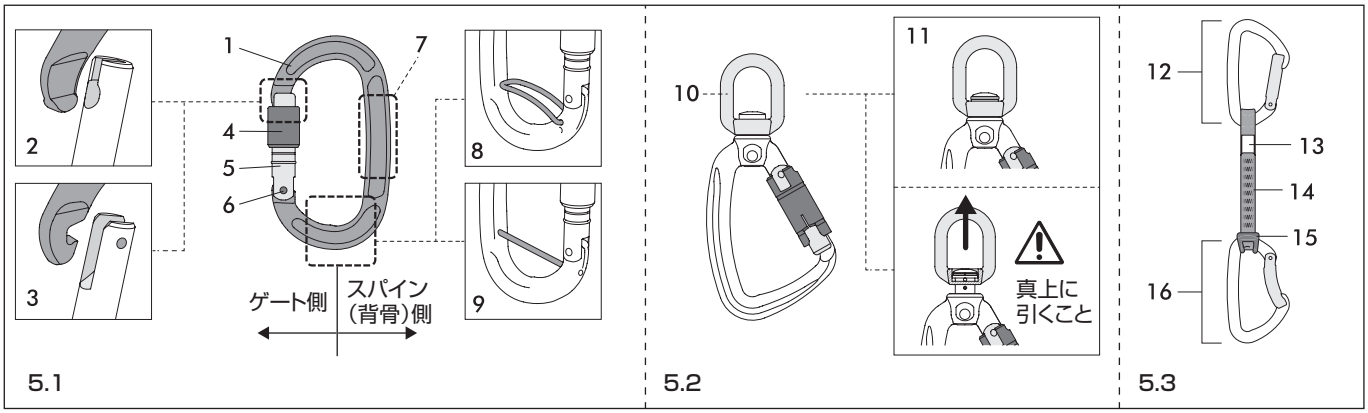
図4　カラビナのタイプ·クラス

1)各部の名称

カラビナの各部の名称(**図5.1～5.2**):**1.**ボディ、**2.**キャッチフリークロージャー、**3.**トラディショナルクロージャー、**4.**ロックスリーブ、**5.**ゲート、**6.**ヒンジ、**7.**表示部、**8.**アンチクロスローディングのスプリングシステム(ロープのずれ防止)、**9.**ロープ位置保持バー、**10.**スウィベル、**11.**スウィベルの荷重方向

クイックドローの各部の名称(**図5.3**):**12.**上部カラビナ、**13.**表示部、**14.**EN566＝スリング、**15.**ラバーファスナー、**16.**下部カラビナ

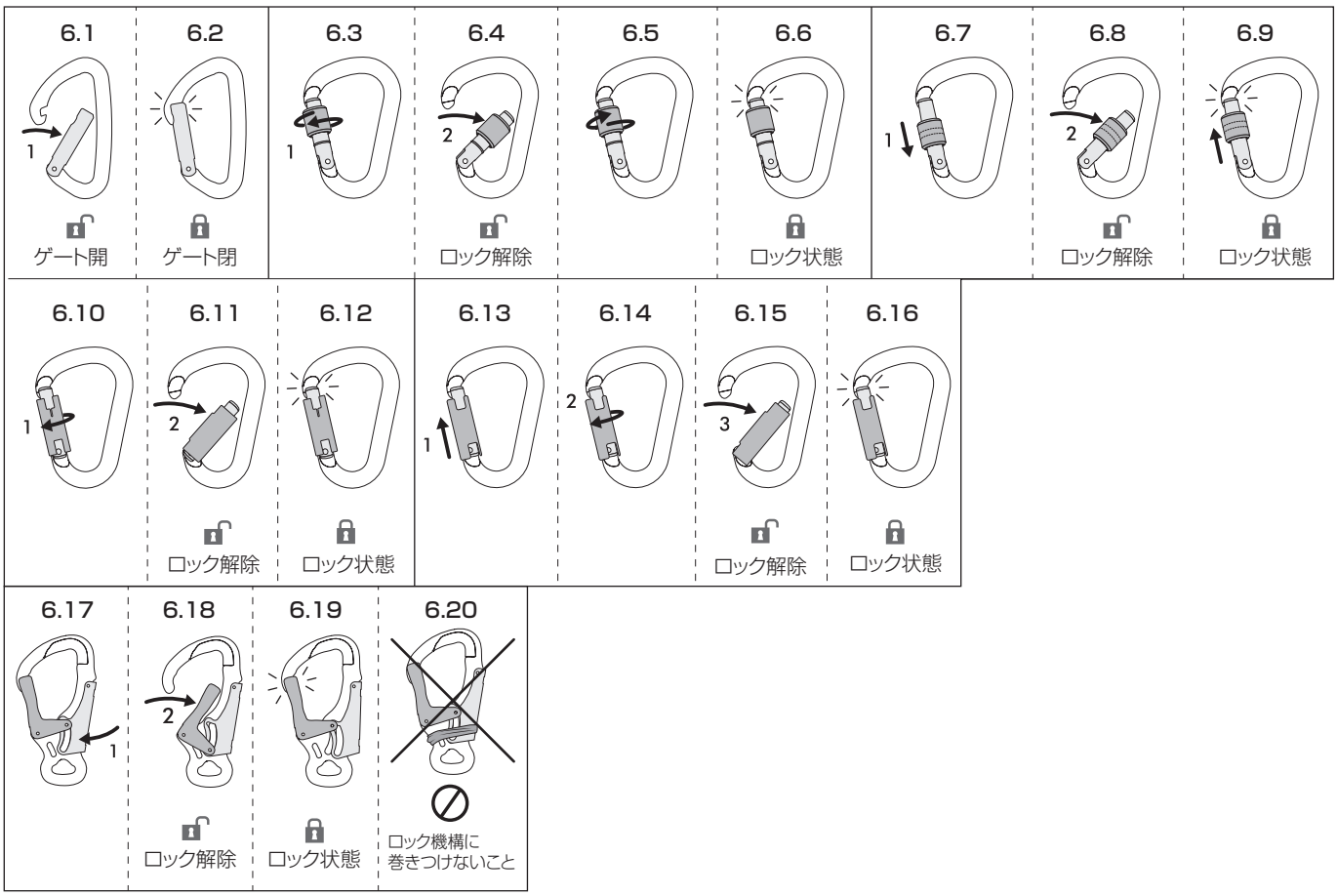
図5　各部の名称



2)ノンロッキングカラビナとロッキングシステム(安全環)付きカラビナ

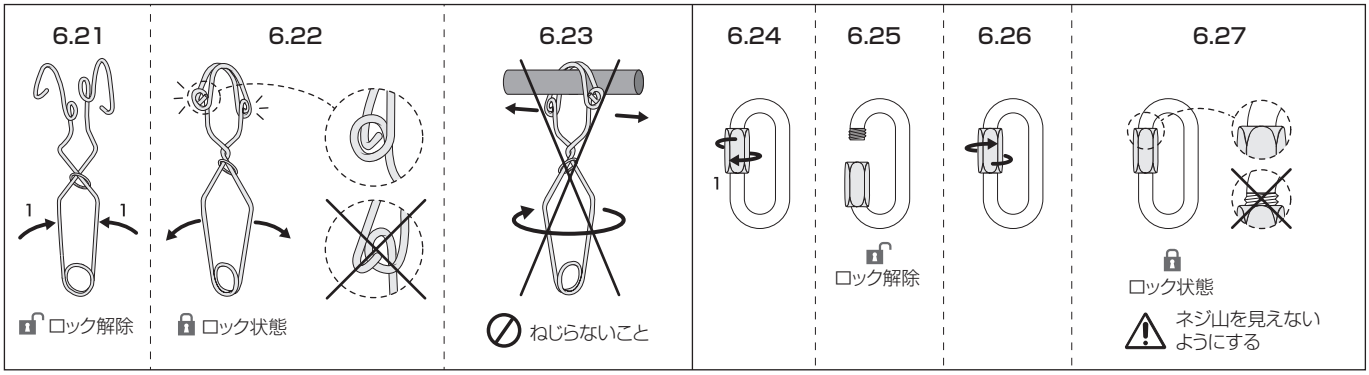
●スプリング式オートマチックゲートレバー採用のもの～**■図6.1、図6.2**のタイプにはロックシステムはありません。**■図6.3～図6.6**は手動スクリュー式ロックカラビナです。**■図6.7～図6.9**のタイプは自動ロック式のタイプで、図の状態で下に押し下げたロックスリーブは手を放すと上に戻ります。**■図6.10～6.12**はツイストロックと呼ばれるもので、図の状態でロック部を左に回すと下に下げてゲートを開けることができます。手を離すとゲート部はもとの位置に戻ります。**■図6.13～図6.16**はトライロックと呼ばれるもので、図の状態でロックスリーブ部を上にあげないとロックスリーブ部が回せません。ロックスリーブ部を上にあげて矢印方向へ回すとゲートを開けることができます。**■図6.17～6.20**はダブルレバーと呼ばれるものです。**図6.17の1**を押しながらゲートを開きます(**図6.18の2**)。

図6　カラビナの解説図～使用方法(6.1～6.20)



●手動ロックシステムのもの～■**図6.21～6.23**はピンチ機構です。●ゲートレバーのないタイプ～■**図6.24～図6.27**はスクリュー(ネジ)式でゲートを開け閉めします。スクリューの開け締めには工具が必要となります。

図6　ロッキングシステムの解説図～使用方法(6.21～6.27)



3)表示(製品によって異なります)

カラビナには以下の表示があります。■CE639または0333の表示は製造に関して欧州の品質基準に沿って認証を行った機関を示す番号です。■製造者名またはその商号(CTロゴ)■製品によっては、数字4桁の製造バッチ番号と製造日と年■当該商品の強度(破断強度)について①メジャーアクシス強度(**図3.1**)、②マイナーアクシス強度(**図3.2**)、③オープンゲートの強度(**図3.3**)の表示(単位はkN＝キロニュートン)があります。これを超える負荷がかかったときには本製品は破断します。■使用者は取扱説明書を読み使用方法について熟知する必要があることを示す図(本の形をしたイラスト)。■UIAAの基準に適合していることを示すUIAAロゴまたはUIAAの文字
■EN 12275のロック機構付きカラビナについては製品にカラビナの種類を示す記号がH(＝HMSカラビナ／洋ナシ型)、K(＝ヴィアフェラータ用／イタリアなどにおいてクライミングコースで使用されるもの)、X(＝オーバル型／アルファベットO形状)、B(＝ベーシック／アルファベットD形状)、またはTの文字に丸印で示されています。■EN362のカラビナにはCE規格の制定年-カラビナのクラスのアルファベットが表示されます。

4)トレーサビリティ

■EN362のカラビナについては、AAAA-DDD-YYの形で製造番号の印字があります(4桁-3桁-2桁の表示～それぞれ順番に、製造通し番号、製造日＝1月1日からの数え日、西暦年下2桁の意味です)。
■EN12275のカラビナには製造バッチ番号と西暦年下2桁がBB-YYの形で表示されます。
■EN566のスリングには、バッチ番号と西暦年が表示されます。

5)点検

■使用前には必ず以下のことを確認してください:変形、ひび割れ、ゆがみ、磨耗がないか(**図7.1**)／ロッキングシステムは正しく機能するか、砂や泥などが付着していないか、装着されたスリングは正しく装着されていて、磨耗、破れ、縫い目が切れていないか、糸がほつれていないか、編みこみがぼろぼろになっていないか。■使用中には次のことに注意してください:カラビナは正しい向きで荷重がかかるようにセットされているか(**図7.3**)／ゲートは完全に閉じられているか／キャッチフリークロージャータイプのカラビナでは雪や氷、泥、砂、石などが詰まっていないか(**図7.2**)／カラビナの動きを妨げるものがないか、岩や硬い構造物でカラビナに無理な力がかかっていないか。

6)カラビナ使用上の注意

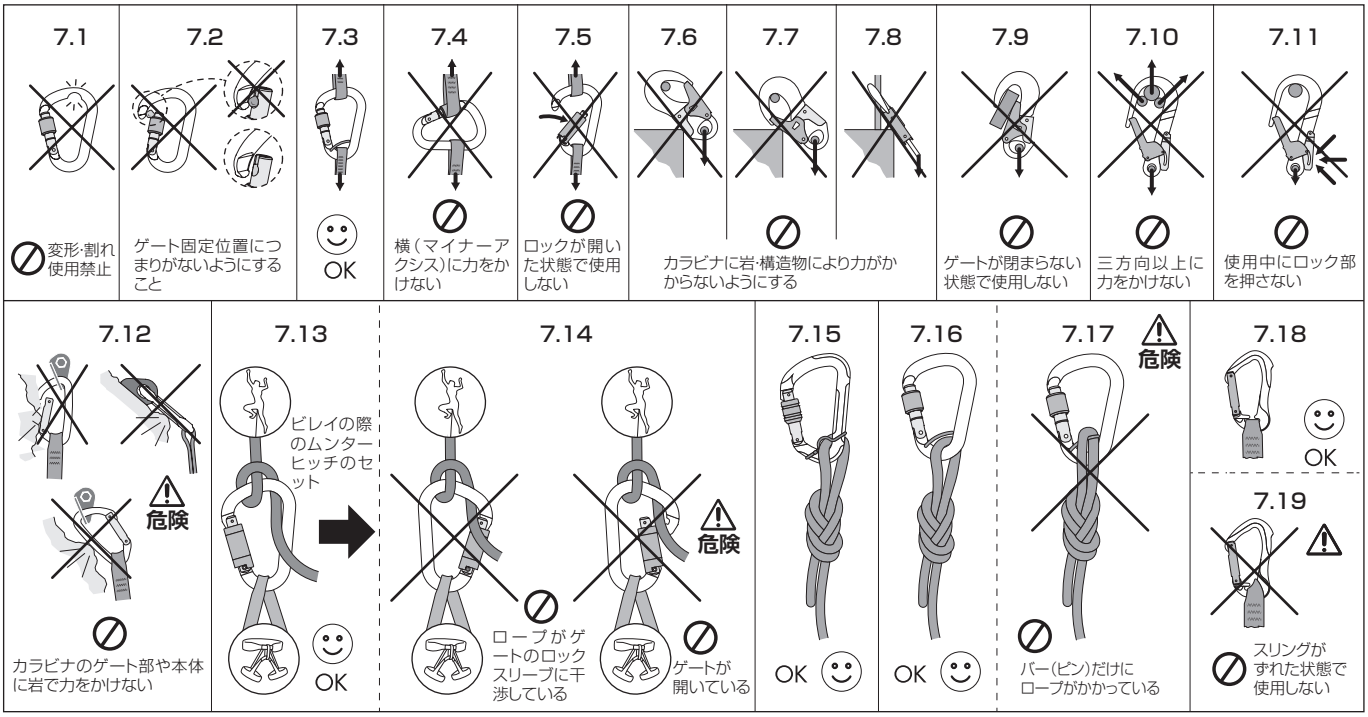
カラビナは使用者がその場で使用できる環境下(-30℃～+40℃)で機能するよう設計されています。ロープのうごきやその結び目、硬いものがあたる、また振動によってゲートが開いてしまうとカラビナの強度が低下します。

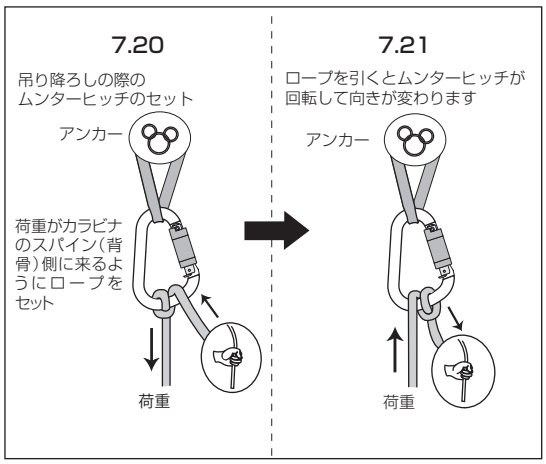
⚠ **警告**　カラビナを踏んだり、上に荷物を置いたりしないでください。また荷重がかかった状況ではゲートを開かないでください。

⚠ **警告**　カラビナはゲートを正しく閉じた状態でメジャーアクシス(**図3.1**)の方向で最大強度がでるよう設計されています。横向きになったり、3方向以上の方向に荷重がかかったりしないようにしてください。(**図7.4～7.11**)。

⚠ **警告**　岩や構造物など堅い物で「てこ」や「ねじれ」の力がかからないようにしてください(**図7.12**)

図7　点検／カラビナの使用上の注意





⚠ 警告　**図7.13**、**図7.20**～**7.21**のムンターヒッチ使用に際しては、ロープを手でしっかりと保持してください。ロープから手を放すと荷物、人が墜落し、死亡または重大な傷害を負う、または物的な破損の恐れがあります。また、過度に重い荷重には対応できないことがあります。実際の使用に際しては山岳ガイド等の指導を受けてください。

⚠ 警告　ムンターヒッチは、主にロープの摩擦を利用して制動を得る方法です。摩擦によるロープの融解などを起こさないよう、ゆっくりと操作してください。

7)EN 12275またはEN 566の製品についての説明

この説明はカラビナやクイックドローをアルパインクライミング等の用途で使用するときのものです。

7.1　EN 12275について**図4**をご参照ください。タイプBカラビナはアルファベットのDの形をしたカラビナです。タイプHのHMS（洋ナシ型）カラビナはダイナミックビレイを行うために設計され、元々ムンターヒッチ（イタリアンヒッチ）用として開発されたカラビナです（**図7.13～7.14**）。タイプKはイタリアなどで見られるヴィアフェラータというクライミングルートで使用されるもので、ハーネスから伸ばしたスリングに固定して使うためのものです（**図7.15～7.16**）。タイプTはターミナルカラビナであらかじめ一定の方向に荷重がかかることを想定して設計されています。タイプXはオーバル型のカラビナで、主にアッセンダーやプーリーとの使用に適しています。タイプQはスクリューゲート型カラビナでクライミングルートの終了点やクライミングジムに適しています。

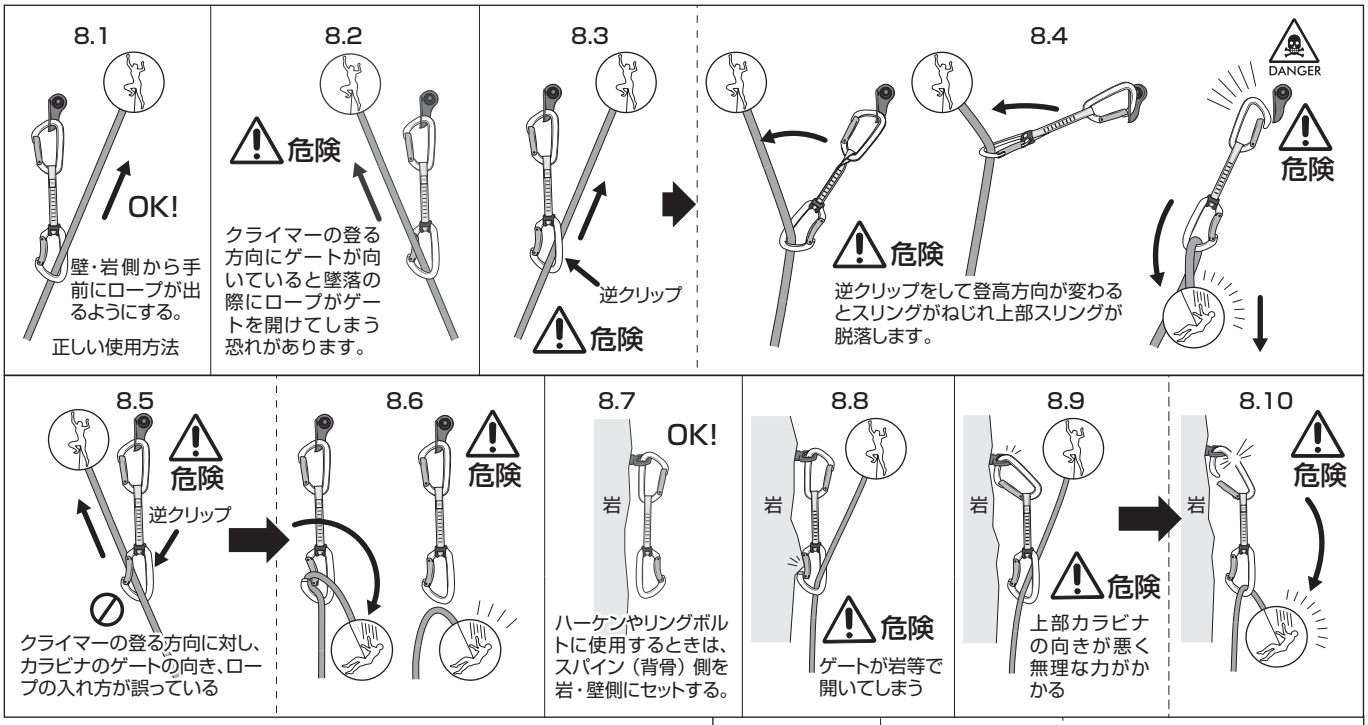
7.2　クイックドローについて（**図8**）：クイックドローは、下部カラビナのゲートの向きが、クライマーの登る方角と反対の向きになるようにロープとセットしてください。また、下部カラビナにかけられるロープは、**図8.1**のように壁（岩）側からカラビナを通り、外側に出るようにセットしてください。**図8.3**、**8.5**のようなロープのかけ方は逆クリップと呼ばれ大変危険です。

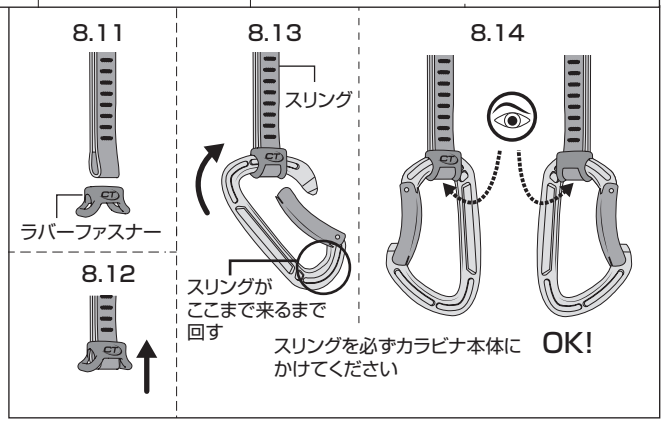
⚠ 警告　**図8.1**のようにロープをカラビナにかけないと、カラビナがロープから外れる原因となります。

⚠ 警告　湿度、水濡れ、鋭いものがあたったり、結び目と接触したりするとスリングの強度が低下します。カラビナとスリングのすべりを防止するラバーファスナーを装着する場合は、**図8.11～8.14**を参照し、EN 566のスリングと合わせてご使用ください。ラバーファスナーは下部カラビナのみに装着してください。

⚠ **危険**　ラバーファスナー装着の際は、スリングが正しくカラビナ本体と接続されているか確認してください。誤ってラバーファスナーのみにカラビナが接続されているとクライマーの荷重を支えられず、墜落時に死亡または重大な傷害事故となります。

図8　EN 12275/EN 566 クイックドローの使用方法





8)EN 362について

2m以上の高さで作業をするときは墜落防止用の個人用保護具が必要となります。高所作業を行う前には環境下のリスク、付随するリスク、考えられうるリスクなど、必ずすべてのリスクの洗い出しを行ってください。

8.1　EN 362の用途　クラスBのカラビナは他の物と組み合わせて部品として組み込まれます。クラスMのカラビナはマルチユースのカラビナです。クラスTのカラビナは特殊な作業用途として使用され、あらかじめ一方向の荷重がかかるところに使用されます。クラスAはアンカー用カラビナです。クラスQはスクリューロック式のカラビナで耐久性に優れた高強度なカラビナで、頻繁に取り外しをする場所には不向きです。

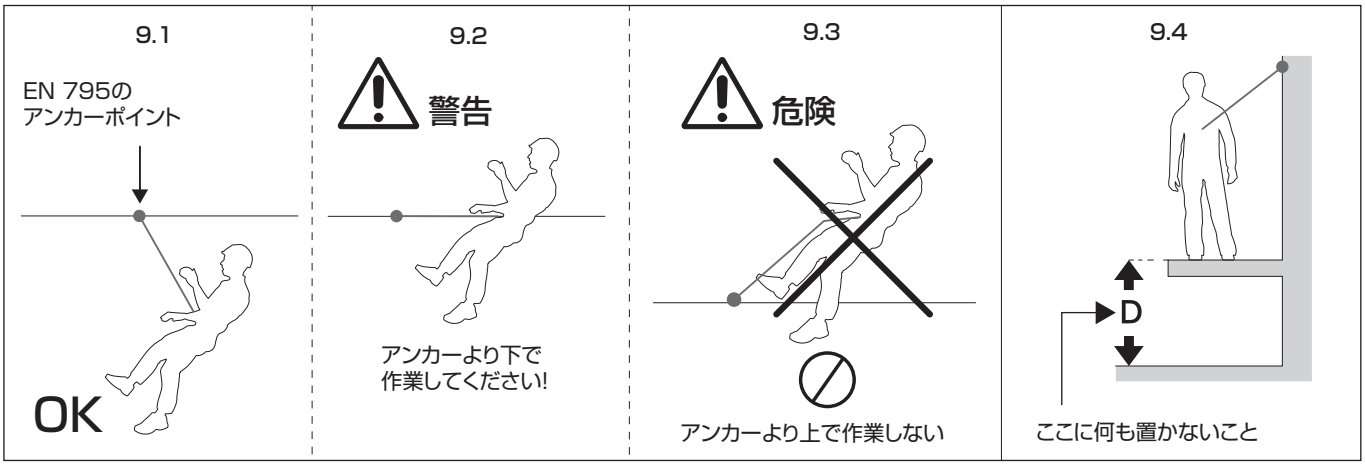
8.2　定期点検　1年に1回(海の近くで使用された場合は半年に1回)は入念な点検を行う必要があります。なお、この点検頻度は使用状況によって変わります。定期点検は安全にクライミングを行うために重要です。**図11**の点検調査票を使い点検記録を残してください。また、使用開始から一年程度での買い替えをおすすめします。

⚠ **警告**　使用履歴の分からないカラビナは使用しないでください。また他の人に貸し出したり使わせたりしないで自分の安全器具は自分自身で管理･使用してください。

8.3　特にご注意いただきたいこと　■使用前～本製品使用前には必ず器具が正しく機能するか確認し、表示を確認し、一緒に使用する器具がクライミング用途のものであることを確認してください。点検記録を確認し、使用できる状況かを確認してください。クライミングは、安全に必要な装備で臨み、安全なルート取りをしてください。万が一の事態に備え、救助体制(セルフレスキューを含む)をどのように取るかを決めておいてください。業務用の墜落防止システムにおいては、作業場の下にはものを置いたり人が来たりしないようにしてください(**図9.4**)。使用中～器具とアンカー等が正しい位置にあり、しっかりと機能しているか確認し、クライマー、作業者の安全の確保に努めてください(**図9.1～9.3**)。使用する器具自体の長さについて留意してください。

8.4　クラスQのカラビナはスクリュー式のロックをトルク締めし、ネジ山が完全に見えないようにしてください(**図6.27**)。スクリュー式カラビナは頻繁にゲートを開け閉めする必要がある用途には適していません。ハーネス

図9　EN 362 高所作業時の注意



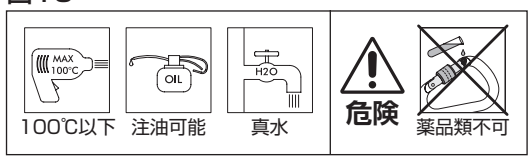
との接続を確認してください。フルボディハーネスは業務用の墜落防止システム用に設計されています。アンカーにはEN 795の基準に沿ったものをお使いください。鋭利なものにあたらないようにしてください。

9)その他一般注意事項

メンテナンス：本製品に腐食やその他のダメージが見られる場合は廃棄し、新しいものに買い換えてください。汚れは使用のつどに落とし、必要に応じてきれいな真水で洗い流し、水をやわらかい布で拭き取り、よく乾燥させてください。海岸付近で使用した際には塩分を良く落とすことが必要です。ロープにダメージを与えないよう、器具の表面は常にバリ、傷、砂等の付着がないことを確認してください。本製品に改造を加えないでください。改造は本製品の本来の機能を損ないます。

注油について：注油を行う際は慎重に行ってください。注油の必要のある部分にのみ適量のシリコン系オイルを使用してください。

図10



⚠ **警告**　量を多く塗布すると思わぬスリップ事故を引き起こします。

⚠ **警告**　オイルがロープなど他の器具に接触しないことを確認してください。他の器具が油に触れると本来の機能を果たせなくなることがあります。

10)保管と持ち運び

傷つき防止のため、他のものと分けて保管･運搬してください。保管の際は汚れを落とし、よく乾燥させた後、冷暗所で行ってください。高温になるところ、薬品等に触れる恐れのあるところには絶対に保管しないでください。カラビナは、カラビナにダメージを与えるような他の鋭利なもの、硬いものと一緒に保管、運搬しないでください。濡れたまま保管しないでください。塩分を含んだ空気に触れないようご注意ください。その他器具を傷めないよう運搬には細心の注意を払ってください。特に夏季の車内は高温になりますので、車の中に放置しないでください。直射日光にあたる場所には保管しないでください。

11)製品寿命

製品寿命は使用の頻度や使用方法、保管状況によって異なります。また、大きな衝撃を受けた場合や使用時の気候等、その他多くの要因によって変わります。適切なお手入れと保管と運搬は製品を長持ちさせます。なお、プラスチック部品は使用頻度に関係なく製造から10年程度で劣化します。製造から10年経った製品は、ダメージがなく劣化していないように見えても買い換えるようにしてください。また、クライミング技術は常に新しい理論と実技が適用されます。クライマー、ビレイヤー等、本製品の使用者は安全確保に対し常に新しい情報を入手し、正しく安全な方法でクライミングを行ってください。本製品の使用者は、使用前、使用中、使用後には必ず本製品、また本製品と一緒に使用するクライミング用品が正常に機能することを確認してください。また毎年最低1回(頻繁に使用した場合、過酷な状況下で使用した場合はさらに短い期間において)は、クライミングインストラクター、山岳ガイド等の有資格者から、本製品の使用方法が適切か、器具が正常に機能し、安全を確保できる状態にあるかのアドバイスをもらい、確認を行ってください。なにか製品に不具合が生じていると思われる場合は、本製品を廃棄し、新しいものに買い換えてください。

12)保証について

本製品の製造またはその素材に起因する不良については三年間の保証が有効です。お買い上げいただいた際のレシートは製品の保証書の代わりになるものですので、必ず本取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

次の場合、保証は有効ではありません

1.お買い上げ後の不適切な輸送、移動時の取り扱いが不適当なために生じた故障･損傷 2.通常使用で発生する傷、磨耗、コーティングのはげなどの外観上の変化 3.不適切な保管方法や誤った使用方法や不注意によって起因した故障･損傷 4.改造、不当な修理による故障･損傷 5.火災･地震、水害、その他天災事故による故障･損傷 6.または前述の事項に準じたその他の要因によるもの

保証期間後の修理･点検等についても本書をご提示ください。

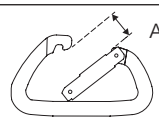
本取扱説明書には著作権があります。ご自分の予備としてのほかはイワタニ･プリムス株式会社の許可なしに複製、公開することはできません。

図11　EN 566 スリングのスペック

型式	kN	長さ	幅		素材
7W100012	25 kN	12 cm	16 mm	14 g	ナイロン
7W100017		17 cm		18 g	
7W100022		22 cm		23 g	
7W102012	22 kN	12 cm	11 mm	8 g	ダイニーマ（ポリエチレン）、ナイロン
7W102017		17 cm		10 g	
7W102022		22 cm		12 g	
7W136012	22 kN	12 cm	10 mm	5 g	ダイニーマ（ポリエチレン）、ナイロン
7W136017		17 cm		8 g	
7W136022		22 cm		10 g	
7W137012	22 kN	12 cm	16~25 mm	14 g	ナイロン
7W137017		17 cm		19 g	
7W137C12		12 cm		14 g	
7W137C17		17 cm		19 g	

図12　EN362/EN12275カラビナのゲート幅

※この表の型式は、パッケージ、又は本体にプリントされているものです。



最初の数字	素材
3	スチール
4	ステンレス
2	アルミニウム

型式	"A"
ステンレスカラビナ	
4C334	22
4C528	20
4C465	25
4C530	19
4C70908	80
4C70910	100
スチールカラビナ	
3C324	26
3C325	18
3C326	22
3C334	22
3C344	22
3C352	17
3C358	17
3C369	21
3C447	23
3C524	19
3C525	19
3C528	21
3C529	20
3C530	19
3C444	20
3C445	20
3C446	22
3C449	20
3C455	26
3C459	22
3C461	22
3C463	22
3C464	22
3C465	25
3C476	20
3C477	20
3C507	26
3C524	20
3C525	18
3C528	21
3C529	20
3C530	19

型式	"A"
3C536	23
3C595	26
アルミカラビナ	
2C304	20
2C305	20
2C308	24
2C309	21
2C310	20
2C311	21
2C312	21
2C313	19
2C314	19
2C331	20
2C332	20
2C333	18
2C335	22
2C336	20
2C337	20
2C338	21
2C339	21
2C344	20
2C353	60
2C355	110
2C360	60
2C362	25
2C368	23
2C372	25
2C373	25
2C385	24
2C386	23
2C392	22
2C393	22
2C394	20
2C395	24
2C396	22
2C397	21
2C398	21
2C399	21
2C404	21
2C405	21
2C408	23

型式	"A"
2C409	42
2C413	23
2C414	32
2C416	21
2C423	17
2C435	20
2C440	22
2C441	22
2C442	19
2C443	20
2C444	20
2C445	20
2C446	21
2C448	22
2C449	20
2C450	17
2C455	25
2C456	20
2C457	21
2C458	17
2C459	22
2C460	22
2C461	22
2C463	21
2C464	21
2C465	25
2C476	19
2C477	19
2C493	25
2C495	23
2C507	23
2C524	18
2C525	18
2C526	18
2C528	20
2C529	20
2C530	20
2C533	22
2C541	25
2C555	19
2C585	23

単位：mm

図13　点検調査票

お客様名	商品名(商品コード)ご購入日

点検日	点検実施者	点検結果	次回点検日
		□異状なし □使用不可 □要メンテナンス･修理	
メモ			

点検日	点検実施者	点検結果	次回点検日
		□異状なし □使用不可 □要メンテナンス･修理	
メモ			

点検日	点検実施者	点検結果	次回点検日
		□異状なし □使用不可 □要メンテナンス･修理	
メモ			

認証機関

apave SUDEUROPE SAS
NOTIFIED BODY "0082"
8, rue Jean-Jacques Vernazza
Z.A.C. Saumaty-Séon CS60193 13322
MARSEILLE CEDEX 16 FRANCE

VVUU a.s.
NOTIFIED BODY "1019"
Pikartska 1337/7 716 07
Ostrava - Radvanice CZECH REPUBLIC

afaq ISO 9001 Qualité AFNOR CERTIFICATION
AFNOR CERTIFICATION
NOTIFIED BODY "0333"
11, rue Francis de Pressensé 93571 LA PLAINE SAINT-DENIS CEDEX, FRANCE

カラビナ･クイックドロー取扱説明書
発行日　2015年6月30日
発行者　イワタニ･プリムス株式会社
東京都中央区八丁堀4-12-20
電話番号 03-3555-5605
CQ2